

【高等学校用】

令和5年度学校評価計画

学校名	佐賀県立三養基高等学校
-----	-------------

1 前年度 評価結果の概要	<p>前年度より「SAGA 唯一無二の学校魅力化実践事業」の「SAGAスマート・ラーニング（SSL）指定校」となった。学校関係者評価にもあるように、今後も地域や小学校・中学校などとの交流・連携をさらに図っていく必要がある。全体的には、取組によっては成果指標が達成できており、評価できる項目もあった。引き続き継続していく取組とさらなる改善につなげる取組を精査する。また、各学年で家庭学習時間確保のために、課題の質の向上、生徒への意識付け、一人一台端末の活用等様々な工夫・改善が必要である。</p>
------------------	---

2 学校教育目標	<p>平和な国家及び社会に有為の人材を育成するため、校訓「質実剛健」のもと、自主自律の精神の涵養をとおして、知・徳・体の調和のとれた教育を目指す。平和な国家及び社会に有為の人材を育成するため、校訓「質実剛健」のもと、自主自律の精神の涵養をとおして、知・徳・体の調和のとれた教育を目指す。</p>
----------	---

3 本年度の重点目標	<p>① 自主自律と相互尊重の精神を備えた生徒の育成                  ② 授業の工夫・改善と家庭学習の充実による生徒の学力向上                  ③ 自己有用感を高める活動の活性化                  ④ 家庭、地域との連携及び学校の魅力づくりの推進</p>
------------	---

4 重点取組内容・成果指標

(1) 共通評価項目			
重点取組			
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組
●学力の向上	○家庭学習の充実	○学校評価アンケートの「家庭学習の取組」の項目において、良い・ほぼ良いと回答する割合を、職員・生徒・保護者すべての割合を70%以上にする。 ○家庭学習（平日）2時間以上の生徒の割合を90%以上にする。	・完全下校の時間（19:20）を厳守させることで、帰宅後の学習時間の確保を図る。 ・日々の記録を用いて生徒の生活リズムを把握し、面談などを通して学習習慣の定着を図る。
	○進路意識の啓発と進路希望の達成	○国公立大学合格者50名、近隣有名私立大学合格者100名を目指す。	・各学年で進路講演会を実施する。 ・進路検討会（3年2回）、教科担当者会（3年1回、2年3回、1年3回）、出願検討会（3年1回）を実施し、職員間での情報共有と改善策の検討を行う。 ・大学入試研究報告会の実施。
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動の推進	○道徳教育全体計画及び人権・同和教育年間指導計画に基づいて授業や指導を行った教員の割合を90%以上にする。 ○学校評価アンケートの「人の役に立つ行動や集団の中での自分のあるべき姿を意識した行動ができた」と回答する生徒の割合を80%以上にする。	・各教科、特別活動、総合的な探究の時間、各種講演会、読書の時間、清掃活動などのボランティア活動、地域社会との関わりを深める取組など、あらゆる機会をとらえて心の教育を行う。
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○学校評価アンケートの「SNSの利用に伴う自分の心身の健康や病気に対する予防や防犯の意識は高まりましたか」で、高まったと回答する生徒の割合を95%以上にする。 ○学校評価アンケートの「いじめに対する対応をどう思うか」で良いと回答する生徒、保護者の割合を90%以上とする。	・防犯講話や集会等で注意喚起し、SNSの利用の危険性を示し、いじめ誘発等の原因や加害者とならないための予防的対応を行う。 ・いじめの覚知・認知について迅速に対応する。 ・いじめの対応について研修会を実施する。
	◎★ふるさと佐賀への思いを醸成するための教育活動の推進	◎「佐賀には誇れるところがある」と回答した生徒の割合を80%以上、「佐賀県に誇りや愛着を感じる・どちらかというと感じる」と回答した生徒の割合を70%以上にする。 ◎★郷土の人材を活用した講演会を年間1回は開催し、「講演会後のアンケート」で、「郷土の価値を再認識することができた」と回答した生徒の割合を90%以上にする。	・「さがを誇りに思う教育推進事業」を利用して講師を招聘し、講演会を実施することで、郷土の価値の再認識につなげる。 ・年間を通して定期的に「佐賀語り」を読む時間を「朝読書の時間」に設け、総合的な探究の時間の地域課題研究と連携を図りながら佐賀の魅力について学ぶ。
●健康・体づくり	●望ましい生活習慣の形成 ●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	○「平均睡眠時間6時間以上」の生徒の割合を70%以上にする。 ●「健康に食事は大切である」と考える生徒の割合を80%以上にする。 ○生徒の朝食摂取率を90%以上にする。 ○エネルギーや水・紙などの使用量削減の意識を持っている生徒の割合を90%以上にする。	・「保健・食育だより」の発行。 ・担任及び保健委員を中心とした委員会からHRでの声かけの実施。 ・保健室入室者への個別指導。 ・ICTの積極的活用
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日を毎週月曜日に設定する。 ・部活動休養日は、年間平均週2日確保する。 ・持続可能な観点から、校務分掌での業務のスリム化、効率化を図る。
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目			
重点取組			
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組
★唯一無二の誇り高き学校の魅力づくり	★学校の魅力づくりの体制を強化	★自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合を78%、教職員の割合を85%以上にする。	・地域との交流を通じてボランティア等を充実させる。 ・積極的、効果的な広報活動や情報発信を行う。 ・学校魅力強化強化委員会外部委員を交えた取組を検討する。 ・生徒が主体的に関わり活躍できる学校行事を企画、運営する。

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり